



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年7月31日

上場会社名 株式会社コラボス 上場取引所 東
 コード番号 3908 URL http://www.collabos.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 茂木 貴雄
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 青本 真人 TEL 03(5623)3391
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月4日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	470	11.9	74	13.0	73	12.9	49	13.2
29年3月期第1四半期	420	9.8	65	19.1	64	15.0	43	17.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	35.03	30.47
29年3月期第1四半期	31.09	27.16

(注) 当社は、平成28年12月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,698	1,344	77.6
29年3月期	1,720	1,293	73.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 1,317百万円 29年3月期 1,267百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
30年3月期	ー				
30年3月期(予想)		ー	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	915	5.7	110	△28.2	108	△28.6	60	△41.3	42.41
通期	2,020	11.3	300	2.4	298	3.0	195	0.1	134.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期1Q	1,418,200株	29年3月期	1,414,800株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	一株	29年3月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期1Q	1,417,574株	29年3月期1Q	1,411,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載される業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料のP. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかな成長を続ける海外経済の下、輸出の持ち直しやインバウンド需要における増加基調がみられ、堅調を維持する企業収益や雇用・所得情勢の改善を受けて、個人消費も持ち直しの傾向にあり、景気は緩やかな回復基調が続いております。先行きにおいては、米国新政権の政策運営等、海外の政治経済動向に懸念はあるものの、輸出の回復や経済対策に伴う公共投資の増加などが作用し、引き続き緩やかな回復が見込まれております。

当社が属するクラウドサービス市場につきましては、平成27年末のクラウドサービスを利用する企業の割合が前年末より5.9%増加し、44.6%に及んでおります。(出典：総務省「情報通信白書平成28年版」)

また、クラウド型CRM市場の市場規模につきましては、平成27年度1,033億円となり、前年度877億円から117.8%増となっております。この背景には、設備投資に充当するコストを資産としてではなく経費として計上できる点や、システムの導入及び運用において、インフラ調達や規模拡張、バージョンアップ等のリードタイムの短縮が図れるという点等が、メリットとして広く認知されてきており、また、セキュリティ等の信頼性向上の面からも、企業のシステム選定時においてクラウドサービスを優先的に検討するクラウドファーストへの移行が着実に進んでおります。(出典：株式会社ミック経済研究所「クラウド型CRM市場の現状と展望2016年度版」)

このような環境下、当社の主力商品である@nyplace (IPネットワークを利用した電話交換機機能をクラウドで提供するインバウンド向けのサービス) につきましては、売上高は順調に推移しました。また、COLLABOS CRM (コールセンター業務に特化したインバウンド向け顧客管理システムをクラウドで提供するサービス) につきましては、一時的な契約ID数の減少はありましたが、COLLABOS PHONE (インターネット環境を利用したソフトフォンをベースとした電話交換機機能をクラウドで提供するサービス)、COLLABOS CRM Outbound Edition (コールセンター業務に特化したアウトバウンド向け顧客管理システムをクラウドで提供するサービス) 等のユーザビリティの高い商品につきましても、それぞれ順調に推移しました。その結果、当第1四半期累計期間における売上高は470,831千円(前年同四半期比11.9%増)となりました。また、営業利益は74,249千円(同13.0%増)、経常利益は73,329千円(同12.9%増)、四半期純利益は49,658千円(同13.2%増)となりました。

なお、当第1四半期におきましては、音声や通信に特化した開発技術力と豊富な実績を有する株式会社ギークフイードとの業務提携に関する基本合意を締結し、両社の持つ技術、ノウハウ、顧客基盤等を最大限に活用し、これまで以上にお客様にご満足いただけるサービスの提供に向けて、連携を強化すべく取り組みを開始いたしました。

当第1四半期累計期間における売上高、売上原価、販売費及び一般管理費の状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

① 売上高

当第1四半期累計期間における売上高は470,831千円(前年同四半期比11.9%増)となりました。その主な内訳は以下のとおりであります。

- ・@nyplaceの期間平均利用席数は6,268席(同544席増)となり、売上高は370,253千円(同12.7%増)となりました。
- ・COLLABOS PHONEの期間平均利用チャネル数は906チャネル(同322チャネル増)となり、売上高は31,098千円(同15.2%増)となりました。
- ・COLLABOS CRMの期間平均利用ID数は2,560ID(同104ID減)となり、売上高は48,400千円(同0.5%減)となりました。
- ・COLLABOS CRM Outbound Editionの期間平均利用ID数は713ID(同115ID増)となり、売上高は12,845千円(同27.2%増)となりました。
- ・その他売上高は8,233千円(同30.0%増)となりました。

② 売上原価

当第1四半期累計期間の売上原価は、252,027千円(前年同四半期比10.1%増)となりました。これは主に、各サービスそれぞれで回線料、ネットワーク機器等設備の保守費用、ホスティング費用、顧客毎のコールフロー設定等の作業費用、ソフトウェア及びハードウェアの償却費等が発生し、@nyplace関連で185,017千円(同9.5%増)、COLLABOS PHONEで31,780千円(同8.1%増)、COLLABOS CRM (Outbound Edition含む)で29,734千円(同12.1%増)計上したことによります。

③ 販売費及び一般管理費

当第1四半期累計期間の販売費及び一般管理費は、144,554千円(前年同四半期比14.6%増)となりました。この主な内訳は、人件費71,870千円(同5.9%増)、人件費以外の経費(業務委託費、広告宣伝費、家賃等)72,684千円(同24.8%増)であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期累計期間末における資産・負債及び純資産の状況と主な要因は、次のとおりであります。

① 資産

当第1四半期累計期間末における総資産は、前年度末に比べて21,813千円減少し、1,698,255千円となりました。主な要因は、売上債権の回収に伴う売掛金の減少等によるものであります。

② 負債

当第1四半期累計期間末における負債は、前年度末に比べて72,336千円減少し、353,845千円となりました。主な要因は、買掛金の支払いによる減少、未払法人税等の納付による減少等によるものであります。

③ 純資産

当第1四半期累計期間末における純資産の部は、前年度末に比べて50,522千円増加し、1,344,410千円となりました。主な要因は、利益剰余金の49,658千円の増加等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月2日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,042,460	1,024,413
売掛金	266,520	203,975
商品及び製品	803	1,991
前払費用	13,357	20,258
繰延税金資産	5,455	5,455
その他	779	3,100
貸倒引当金	△426	△183
流動資産合計	1,328,949	1,259,011
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,078	4,078
減価償却累計額	△4,078	△4,078
建物(純額)	0	0
工具、器具及び備品	363,937	368,548
減価償却累計額	△334,068	△337,621
工具、器具及び備品(純額)	29,868	30,926
リース資産	301,774	334,495
減価償却累計額	△119,896	△133,443
リース資産(純額)	181,877	201,052
有形固定資産合計	211,746	231,979
無形固定資産		
ソフトウェア	90,183	78,467
ソフトウェア仮勘定	26,100	28,008
その他	414	414
無形固定資産合計	116,698	106,890
投資その他の資産		
関係会社株式	6,120	6,120
長期前払費用	2,876	2,582
差入保証金	26,424	64,418
破産更生債権等	19	16
繰延税金資産	27,254	27,254
貸倒引当金	△19	△16
投資その他の資産合計	62,674	100,375
固定資産合計	391,120	439,244
資産合計	1,720,069	1,698,255

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	93,933	49,437
短期借入金	10,000	10,000
リース債務	54,120	63,224
未払金	30,444	24,150
未払費用	4,534	4,770
未払法人税等	49,964	24,971
未払消費税等	20,455	11,891
前受金	5,239	3,011
賞与引当金	8,000	-
役員賞与引当金	2,000	-
その他	2,612	5,211
流動負債合計	281,303	196,670
固定負債		
リース債務	144,878	157,174
固定負債合計	144,878	157,174
負債合計	426,181	353,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	301,464	301,901
資本剰余金	281,464	281,901
利益剰余金	684,210	733,869
株主資本合計	1,267,139	1,317,671
新株予約権	26,748	26,739
純資産合計	1,293,888	1,344,410
負債純資産合計	1,720,069	1,698,255

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	420,725	470,831
売上原価	228,907	252,027
売上総利益	191,818	218,803
販売費及び一般管理費	126,108	144,554
営業利益	65,709	74,249
営業外収益		
受取利息	3	—
受取手数料	19	19
違約金収入	612	—
雑収入	—	308
営業外収益合計	635	327
営業外費用		
支払利息	1,399	1,240
為替差損	—	7
営業外費用合計	1,399	1,247
経常利益	64,945	73,329
特別損失		
本社移転費用	—	3,163
特別損失合計	—	3,163
税引前四半期純利益	64,945	70,165
法人税等	21,074	20,507
四半期純利益	43,871	49,658

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。